

都市再生整備計画 事後評価シート
中心拠点蒲郡地区

令和7年4月

愛知県蒲郡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	蒲都市		地区名	中心拠点蒲郡地区			面積	369ha		
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	1,575.1	国費率	0.43				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 【公園】新井形公園、松前公園 【地域生活基盤施設】蒲郡市民体育センター(体育館構造体等耐震改修)(駐車場整備) 【土地区画整理事業】蒲郡中部地区										
	当初計画から削除した事業		基幹事業		なし		削除/追加の理由			-			
	新たに追加した事業		基幹事業		【地域生活基盤施設】蒲郡市民体育センター(武道館構造体等耐震改修)(武道館太陽光発電設備設置)		定量化する指標である「公共施設防災耐震化率」を100%達成させるため、耐震未改修の武道館を追加			地区内の公共施設はすべて耐震化され、「公共施設防災耐震化率」は100%となる			
	交付期間の変更		当初		令和2年度～令和6年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-			
	変更		なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	住みやすさ住民満足度	-	3.30	R1	3.70	R6	3.32	3.72	○	あり なし	土地区画整理事業の計画的進捗をはじめとした事業の計画的進捗により、住みやすさは良くなったという意見が多く、住みやすさ満足度は着実に向上した。	なし
	指標2	都市再生整備計画区域内人口密度	人/ha	51	R1	51	R6	51	51	○	あり なし	土地区画整理事業の計画的進捗や安全で便利な市街地整備により人口減少を抑制している。	なし
	指標3	公共施設防災耐震化率	%	84.6	R1	100.0	R6	100.0	100.0	○	あり なし	地域防災計画で緊急輸送基地及び避難所指定した公共施設の耐震化は全て完了したことから目標は達成され、安全性確保が適切に図られた。	なし
指標4	健康づくり及び交流の場の確保	-	2.60	R1	3.00	R6	3.62	3.50	○	あり なし	蒲郡市民体育センターの整備にあわせて、市民の施設に対する満足度は着実に向上した。	なし	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		提案事業(事業活用調査):事業効果分析調査としてモニタリングを実施した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● なし		
	住民参加プロセス		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

中心拠点蒲郡地区(愛知県蒲郡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:多世代が健康で安心して暮らせる中心拠点づくり 目標1:本市の中心拠点である蒲郡駅周辺地域における良好な都市空間の形成 目標2:将来にわたり住み続けたいなる、歩いて便利に生活できる居住地の形成 目標3:安心・安全な市民生活を確保し、災害に強い拠点の形成 目標4:市民の健康づくりと交流活動の場の形成	住みやすさ住民満足度	-	3.30 R1	3.70 R6 3.72 R6
	都市再生整備計画区域内人口密度	人/ha	51 R1	51 R6 51 R6
	公共施設防災耐震化率	%	84.6 R1	100.0 R6 100.0 R6
	健康づくり及び交流の場の確保	-	2.60 R1	3.00 R6 3.50 R6

■公園整備事業(新井形公園、松前公園)

【新井形公園】 【松前公園】

■蒲郡市民体育センター(体育館・武道館)耐震改修、駐車場整備

【体育館全景】 【武道館全景】 【アリーナ】 【駐車場】

■市民体育機能向上改修

【バリアフリー観覧席】 【バリアフリートイレ】

■土地区画事業蒲郡中部地区

【中部区画整理地内区画道路】

まちの課題の変化

○利便性の高い本地区でハード整備だけでなく、ソフト事業も交えて総合的な居住誘導施策を実施することで人口密度を維持する必要がある。
 →土地区画整理事業による市街地整備を着実に実施し、併せて定住促進施策を実施したことにより、人口の定着が図られている。

○高齢化の進行に伴い、自家用自動車に頼ることができなくなる恐れがあることから、歩いて便利に生活できる生活環境の確保や公共交通体系の維持及び充実を図る必要がある。
 →整備計画区域周辺の道路整備と合わせた、支線バス運行、高齢者タクシー運賃助成制度などの移動支援により、誰もが安全で快適に移動できる環境整備が進められている。

○災害に強いまちづくりを継続して実施していくことで、住民が安心して暮らせる環境整備を推進する必要がある。
 →蒲郡市民体育センター体育館・武道館の耐震改修をしたことで、地域防災計画において緊急輸送基地及び避難所指定した公共施設の耐震化率が100%となり、緊急時においても市民が安全に利用できる施設へと機能強化され、安全性が向上した。

○施策に対する満足度がワースト1であったスポーツ施設の機能を向上させる整備をすることで、市民の健康づくりと交流の場の充実を図る必要がある。
 →蒲郡市民体育センターの整備により、市民の健康づくりと交流の場の充実が進められている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

○効果を持続させるために行う方策
 土地区画整理事業による市街地整備を着実に実施したことにより、人口の定着が図られている。引き続き良好な住環境整備、都市基盤整備などを行うことで、人口密度を確保し生活利便性の高いまちを維持していく。

○改善策
 本格的に動き出しつつある、「全市利用型リーディングプロジェクト」及び「東港地区におけるまちづくり」の動きと連動しながら、蒲郡駅周辺の都市機能施設の充実度を高めることにより、交流人口の増加、にぎわいの創出及び維持を図ることで、蒲郡のまちの顔となる中心市街地の形成を目指していく。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●		目標値 公共施設防災耐震化率:92.3%	目標値 公共施設防災耐震化率:100%	唯一耐震化が図られていなかった武道館を耐震化することにより、地区内の公共施設の耐震化を100%とする。
C. 目標値		●			
D. その他(事業期間)		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
公園	新井形公園	45.4	1,000㎡	36.7	1,000㎡	事業費の変更	事業費の精査	●	
公園	松前公園	55.1	1,300㎡	41.5	1,300㎡	事業費の変更	事業費の精査	●	
地域生活基盤施設 (地域防災施設)	蒲郡市民体育センター (体育館構造体等耐震改修)	354.6	5,263㎡	311.8	5,263㎡	事業費の変更	事業費の精査	●	
地域生活基盤施設 (地域防災施設)	蒲郡市民体育センター (武道館構造体等耐震改修)			48.7	3,655㎡	事業の追加	定量化する指標である「公共施設防災耐震化率」を100%達成させるため、耐震未改修の武道館を追加	●	
地域生活基盤施設 (公共公益施設と一体的に整備する再生可能エネルギー施設等)	蒲郡市民体育センター (武道館太陽光発電設備設置)			100.3	3,655㎡	事業の追加	定量化する指標である「公共施設防災耐震化率」を100%達成させるため、耐震未改修の武道館を追加	●	
地域生活基盤施設 (駐車場)	蒲郡市民体育センター (駐車場整備)	45.6	7,200㎡	32.5	7,200㎡	事業費の変更	事業費の精査	●	
土地区画整理事業	蒲郡中部地区	630.8	53.31ha	512.0	53.31ha	事業費の変更	事業費の精査		●

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

提案事業		当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
事業	細項目	事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造支援事業	市民体育館機能向上改修	476.7	5,263㎡	487.0	5,263㎡	事業費の変更	事業費の精査	●	
事業活用調査	事業効果分析	7.0	-	4.6	-	事業費の変更	事業費の精査		●

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業		事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
事業	細項目		当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
土地区画整理事業(街路)		(都)蒲郡環状線	105	94.4	令和2年度～令和6年度	令和2年度～令和5年度	終了	-
土地区画整理事業(街路)		(都)坂本線	14	18.7	令和2年度	令和2年度～令和4年度	終了	-
公園施設長寿命化計画策定調査		-	30	10.6	令和2年度	令和2年度	終了	-
公園施設長寿命化対策支援事業		-	120	119.0	令和3年度～令和6年度	令和3年度～令和6年度	令和9年度までに整備完了予定	進捗状況については、当初計画していた遊具数等を完了するまでに必要な期間
都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業		-	-	55.7	-	令和5年度～令和6年度	令和7年度までに整備完了予定	進捗状況については、当初計画していた改修箇所を完了するまでに必要な期間
優良建築物等整備事業		蒲郡駅北地区(再開発)	270	658.2	令和3年度～令和5年度	令和3年度～令和6年度	計画通り進捗	-
土地区画整理事業		蒲郡蒲南、蒲郡中部、蒲郡駅南	308	1,666.1	令和2年度～令和6年度	令和2年度～令和6年度	計画通り進捗	-
武道館機能向上改修		蒲郡市民体育センター(武道館)	-	440.3	令和2年度～令和6年度	令和4年度	終了	-
定住促進事業(三世同居・近居住宅支援補助金)		-	58	24.1	令和2年度～令和6年度	令和2年度～令和6年度	計画通り進捗	-
空地等適正管理事業(解体・利活用)		-	-	25.6	-	令和2年度～令和6年度	計画通り進捗	-
リーディングプロジェクト推進事業		蒲郡市中心拠点都市機能誘導区域内	3	37.9	令和2年度～令和6年度	令和6年度	計画通り進捗	-
支線運行事業		蒲郡西部地区	30	75.6	令和2年度～令和6年度	令和2年度～令和6年度	計画通り進捗	-
高齢者タクシー運賃助成事業		-	5	5.1	令和2年度～令和6年度	令和2年度～令和6年度	計画通り進捗	-

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込み の有無		
			基準 年度		基準 年度		目標 年度						あり	なし		
指標1	住みやすさ住民満足度	-	市が実施した住民アンケートにより、住みやすさ満足度を点数評価し、その平均値			3.30	R1	3.70	R6	モニタリング	R4	3.32	モニタリング	△	-	-
										事後評価	確定見込み	●	3.72	事後評価		
指標2	都市再生整備計画区域内人口密度	人/ha	都市再生整備計画区域内の人口密度			51	R1	51	R6	モニタリング	R4	51	モニタリング	○	-	-
										事後評価	確定見込み	●	51	事後評価		
指標3	公共施設防災耐震化率	%	都市再生整備計画区域内において、地域防災計画で緊急輸送基地及び避難所指定した公共施設の耐震化率			84.6	R1	100.0	R6	モニタリング	R4	100.0	モニタリング	○	-	-
										事後評価	確定見込み	●	100.0	事後評価		
指標4	健康づくり及び交流の場の確保	-	市が実施する住民アンケートにより、市民体育館の改修内容を点数評価をし、その平均値			2.60	R1	3.00	R6	モニタリング	R4	3.62	モニタリング	○	-	-
										事後評価	確定見込み	●	3.50	事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	土地区画整理事業をはじめとした道路・公園整備事業等の市街地整備により、住みやすさは満足度は向上し、目標は達成できた。	
指標2	土地区画整理事業をはじめとした道路・公園整備事業等の市街地整備により、人口減少が抑制され、目標が達成できた。	
指標3	令和4年度に実施した蒲郡市民体育センター武道館の耐震改修事業に伴い、地域防災計画で緊急輸送基地及び避難所指定した公共施設の耐震化が全て完了したことから、目標が達成できた。	
指標4	蒲郡市民体育センター体育館・武道館の耐震改修事業及び機能性向上改修事業等により、市民の施設に対する満足度が向上し、目標が達成できた。	

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課 題等)	
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度				
その他の 数値指標 1							モニタリ ング	R4		
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標 2							モニタリ ング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標 3							モニタリ ング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標 4							モニタリ ング			
							事後評価	確定 見込み		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

なし

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
提案事業(事業活用調査):事業効果分析調査としてモニタリングを実施した。	予定どおり実施した	【実施頻度】令和4年度に1回 【実施時期】令和4年6月～令和5年3月 【実施結果】令和4年度に実施し、事業進捗状況や数値目標の達成状況等の事業評価上の課題を確認した。	なし
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内関係各課との打ち合わせ	区画整理課、スポーツ推進課、建築住宅課、教育政策課、交通防犯課、みなとみらい課、土木管理課、水道課、下水道課	令和6年11月	都市計画課 (都市再生整備計画事業主管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	指標3	指標4				
指標名		住みやすさ住民満足度	都市再生整備計画区域内人口密度	公共施設防災耐震化率	健康づくり及び交流の場の確保				
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見				
基幹事業	公園:新井形公園	◎	土地区画整理事業の計画的進捗をはじめとした事業の計画的進捗により、住みやすさは良くなったという意見が多く、住みやすさ満足度は着実に向上した。	○	土地区画整理事業の計画的進捗や安全で便利な市街地整備により人口減少を抑制している。	-	地域防災計画で緊急輸送基地及び避難所指定した公共施設の耐震化は全て完了したことから目標は達成され、安全性確保が適切に図られた。	-	蒲郡市民体育センターの整備にあわせて、市民の施設に対する満足度は着実に向上した。
	公園:松前公園	◎		○		-			
	蒲郡市民体育センター(体育館構造体等耐震改修)	○		○		◎			
	蒲郡市民体育センター(武道館構造体等耐震改修)	○		○		◎			
	蒲郡市民体育センター(武道館太陽光発電設備設置)	○		○		-			
	蒲郡市民体育センター(駐車場整備)	○		○		-			
土地区画整理事業:蒲郡中部地区	◎	◎		-		-			
提案事業	地域創造支援事業:市民体育館機能向上改修	○		○		○		◎	
	事業効果分析:事業効果分析	-		-		-		-	
関連事業	土地区画整理事業(街路):(都)蒲郡環状線	◎		○		-		-	
	土地区画整理事業(街路):(都)坂本線	◎		○		-		-	
	公園施設長寿命化計画策定調査	◎		○		-		-	
	公園施設長寿命化対策支援事業	◎		○		-		-	
	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	◎		○		-		-	
	優良建築物等整備事業:蒲郡駅北地区(再開発)	◎		○		-		-	
	土地区画整理事業:蒲郡蒲南、蒲郡中部、蒲郡駅南	◎	◎	-	-				
	武道館機能向上改修:蒲郡市民体育センター(武道館)	○	○	○	◎				
	定住促進事業(三世代住居・近居住宅支援促進補助金)	◎	○	-	-				
	空地等適正管理事業(解体・利活用)	◎	◎	-	-				
	リーディングプロジェクト推進事業:蒲郡市中心拠点都市機能誘導区域内	◎	○	-	-				
	支線運行事業:蒲郡西部地区	◎	◎	-	○				
	高齢者タクシー運賃助成事業	◎	◎	-	○				

※指標改善への貢献度

- ◎:事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- :事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △:事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- :事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	指標1	指標2	指標3	指標4
整備済み施設の適切な維持管理と土地区画整理事業の計画的な進捗を図る。	整備済み施設の適切な維持管理と土地区画整理事業の計画的な進捗を図る。	整備済み施設の適切な維持管理と土地区画整理事業の計画的な進捗を図る。	整備済みの避難場所の適切な運用を図る。	整備済み施設の効果的利活用を図る。

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別												
指標名												
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	公園:新井形公園											
	公園:松前公園											
	蒲郡市民体育センター(体育館構造体等耐震改修)											
	蒲郡市民体育センター(武道館構造体等耐震改修)											
	蒲郡市民体育センター(武道館太陽光発電設備設置)											
提案事業	蒲郡市民体育センター(駐車場整備)											
	土地区画整理事業:蒲郡中部地区											
関連事業	地域創造支援事業:市民体育館機能向上改修											
	事業効果分析:事業効果分析											
	土地区画整理事業(街路):(都)蒲郡環状線											
	土地区画整理事業(街路):(都)坂本線											
	公園施設長寿命化計画策定調査											
	公園施設長寿命化対策支援事業											
	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業											
	優良建築物等整備事業:蒲郡駅北地区(再開発)											
	土地区画整理事業:蒲郡蒲南、蒲郡中部、蒲郡歌南											
	武道館機能向上改修:蒲郡市民体育センター(武道館)											
	定住促進事業(三世代住居・近居住宅支援促進補助金)											
	空地等適正管理事業(解体・利活用)											
	リーディングプロジェクト推進事業:蒲郡市中心拠点都市機能誘導区域内											
支線運行事業:蒲郡西部地区												
高齢者タクシー運賃助成事業												

※目標未達成への影響度

- ××:事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×:事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △:数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ー:事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ:内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ:外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ:外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ:内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)				

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内関係各課との打ち合わせ	区画整理課、スポーツ推進課、建築住宅課、教育政策課、交通防犯課、みなとみらい課、土木管理課、水道課、下水道課	令和6年11月	都市計画課 (都市再生整備計画事業主管課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
利便性の高い本地区でハード整備だけでなく、ソフト事業も交えて総合的な居住誘導施策を実施することで人口密度を維持する必要がある。	土地区画整理事業による市街地整備を着実に実施し、併せて定住促進施策を実施したことにより、人口の定着が図られている。	特になし	本事業による安全で快適に住み続けることのできる市街地環境の形成を受けて、立地適正化計画に基づく、都市機能誘導区域における都市機能施設の充実及び企業、住民参加型のまちづくり推進
高齢化の進行に伴い、自家用自動車に頼ることができなくなる恐れがあることから、歩いて便利に生活できる生活環境の確保や公共交通体系の維持及び充実を図る必要がある。	整備計画区域周辺の道路整備と合わせた、支線バス運行、高齢者タクシー運賃助成制度などの移動支援により、誰もが安全で快適に移動できる環境整備が進められている。	特になし	
災害に強いまちづくりを継続して実施していくことで、住民が安心して暮らせる環境整備を推進する必要がある。	蒲郡市民体育センター・体育館・武道館の耐震改修をしたことで、地域防災計画において緊急輸送基地及び避難所指定した公共施設の耐震化率が100%となり、緊急時においても市民が安全に利用できる施設へと機能強化され、安全性が向上した。	特になし	
施策に対する満足度がワースト1であったスポーツ施設の機能を向上させる整備をすることで、市民の健康づくりと交流の場の充実を図る必要がある。	蒲郡市民体育センターの整備により、市民の健康づくりと交流の場の充実が進められている。	特になし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	人口定住のための取組の継続的实施	土地区画整理事業をはじめとする市街地整備の計画的実施	蒲郡中部土地区画整理事業 一沢公園整備事業、定住促進事業
	安全で便利に移動できる環境の維持・向上	整備済み施設の維持・管理と未整備施設の計画的整備	蒲郡中部土地区画整理事業
	住民が安心して暮らせる環境の維持・向上	整備済みの避難施設等の適切な維持・管理	市民体育センター等の活用促進事業
	市民の健康づくりと交流の場の維持・充実	整備済みの避難施設等の適切な維持・管理	

B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	立地適正化計画に基づく、都市機能誘導区域における都市機能施設の充実及び企業、住民参加型のまちづくり推進	既存施設の再配置を考慮した誘導施設の集約配置 市街地の交流人口の増加 にぎわいの創出及び維持によるまちの魅力向上	全市利用型施設リーディングプロジェクト事業(図書館、ホール、生涯学習センター機能を集合した複合施設) 東港地区まちなかウォークアブル推進事業

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="radio"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input type="radio"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input type="radio"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input type="radio"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input type="radio"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	住みやすさ住民満足度	-	3.30	R1	3.70	R6	確定 ●	3.72	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標2	都市再生整備計画区域内人口密度	人/ha	51	R1	51	R6	確定 ●	51	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標3	公共施設防災耐震化率	%	84.6	R1	100.0	R6	確定 ●	100	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標4	健康づくり及び交流の場の確保	-	2.60	R1	3.00	R6	確定 ●	3.50	○	あり	→		
							見込み			なし			
その他の数値指標1							確定				→		
							見込み						
その他の数値指標2							確定				→		
							見込み						
その他の数値指標3							確定				→		
							見込み						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	特になし。	
	うまく いかなかった点	特になし。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	特になし。	
	うまく いかなかった点	特になし。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	特になし。	
	うまく いかなかった点	特になし。	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	特になし。	
	うまく いかなかった点	特になし。	
その他	うまくいった点	特になし。	
	うまく いかなかった点	特になし。	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

中心拠点蒲郡北東部地区(令和7～9年度)
(仮称)中心拠点蒲郡中心市街地地区(令和8年度以降)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに掲載	令和6年11月22日(金)	令和6年11月22日(金)～ 12月6日(金)	都市計画課へ直接提出、郵 送、メール、FAX	都市計画課 (都市再生整備計画事業主 管課)
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市ホームページで原 案を公表する旨を掲載	広報がまごおり 令和6年11月号	-		
説明会・ワークショップ	なし	-	-		
その他	都市計画課にて原案閲覧	令和6年11月22日(金)	令和6年11月22日(金)～ 12月6日(金)		

住民の意見	なし				
-------	----	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	金城学院大学生活環境学部環境デザイン学科 教授 長谷川 直樹	令和6年12月20日(金)	都市計画課(都市再生整備計画主管課)	蒲郡市都市再生整備計画評価委員会設置要綱	蒲郡市都市再生整備計画評価委員会
その他の委員	蒲郡中部土地地区画整理事業 審議会会長 岩井 襄治 蒲郡駅南土地地区画整理事業 審議会委員 浅野 和子				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・成果の評価は適正に実施されたことが確認された。
	実施過程の評価	・実施過程の評価は適正に実施されたことが確認された。
	効果発現要因の整理	・効果発現要因の整理は適正に実施されたことが確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	・市民への事後評価原案の公表は妥当であると認められた。
	その他	・特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・今後のまちづくり方策に作成は適正に実施されたことが認められた。
	フォローアップ	・特になし
	その他	・今後、区画整理地内において世代交代が進む中、将来的な人口流出にも対応していく必要があると意見があった。 ・ウォークアブル推進事業を進めるにあたり、自転車と歩行者の安全性や快適性に配慮する必要があると意見があった。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	・公園の植樹において、日差しを遮る高木の植樹等暑さ対策にも配慮して欲しいと意見があった。 ・既存の公園において築山の斜面が一部崩れているため、対策について検討した上で整備をすべきであるという意見があった。 ・水竹公園の駐車場が公園利用者以外に使用されており、公園利用者が駐車できない状況であると意見があった。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--